

1. 地下空間研究委員会総括報告

1.1. 発足の経緯と委員会活動報告

当委員会は1987年6月から1996年3月まで、土構造物および基礎委員会の下部組織「地下空間に関する研究小委員会」として活動を行った。その間シンポジウムを6回開催したほか、書籍「ニューフロンティア地下空間（技報堂，1991）」を出版するなど成果を上げ、学問領域として、地下空間の利用に関する総合的な研究を行う基礎を築いた。

1994年度に正式に調査研究委員会として土木学会に常設されてからは、地下空間利用における人間中心の視点に立ち、“地下空間学”の創造をめざす研究活動を行ってきた。その活動領域は、土木工学のみならず、都市計画、建築、法律、医学、心理学、福祉さらには芸術の分野にまで及んでいる。

現在本委員会では「計画小委員会」「防災小委員会」「心理小委員会」「維持管理小委員会」の4つの小委員会を設置し、親委員会の指導の下で調査研究活動を進めている。また親委員会の下に「幹事会」を置き、4つの小委員会の調査研究活動を調整する役割を担っている他、マスコミや出版社に対する地下空間の広報活動、親子見学会対応など、地下空間の有用性を広く外部に発信する役割を担っている。

調査研究小委員会の他、毎年初めに開催している地下空間シンポジウムおよび論文発表において、その企画運営と論文審査を行う「地下空間シンポジウム実行委員会」「地下空間シンポジウム表彰委員会」を設置し、委員会の調査研究活動の外部への発信、地下空間に関わる問題提起など、活発な活動を行っている。さらに土木学会年次講演会での研究討論会、共通セッションなどを通じて、広く委員会外の方々と論文発表ならびに意見交換や討論を行ってきた。

また、韓国大邱の地下鉄火災、各地域の地下空間浸水災害、東日本大震災に代表される、地下に関連した災害、重大事件・事故には迅速に対応し、討論会の企画や報告書として成果の公表も行ってきた。

第8期の活動としては、小委員会の調査研究活動の他、地下空間の有用性について一般への普及活動に力を注いできた。これまで13回開催されている「夏休み親子見学会」は、将来の地下空間利用・開発を担う小学生を対象として、毎年夏休みの始めに「みんなで触れよう、考えよう、想像しよう こんなにもおもしろい地下空間」をテーマとして開催している。毎回約15組、30名程度の参加を頂くとともに、都市における地下空間利用の状況を見学やクイズを通して実感していただくとともに、その必要性などを考えてもらい、参加した小学生には「こども地下空間博士」証を贈っている。2018年と2019年には、JSCE2015に基づく活動として、土木学会より助成を受けている。

また、これまで各種調査研究活動で得られた知見を広く一般に広める活動として、講習会、セミナーに力を入れている。2015年2月に刊行した地下空間ライブラリー「地下構造物のアセットマネジメント～導入に向けて」を普及させるために、講習会を東京、大阪で実施した。さらに防災、心理、維持管理の3小委員会では、これまでに得られた知見を取りまとめ、無料にて全国各地でセミナーを開催し、数多くの一般市民や実務者の参加を得ている。後述するように、第8期では、特に普及活動が活発化していると評価できる。

もう一つの柱は、マスコミへの協力を通じた地下空間の普及活動である。この活動は委員の執筆により2010年4月に刊行された、ソフトバンククリエイティブの「みんなが知りたい地下の秘密」の出版を皮切りに、各方面から地下空間に関わる様々な協力依頼があり、その都度担当の委員を決めて対応している。その内容はテレビ局の番組制作協力、雑誌や書籍の執筆並びに監修、新聞の地下空間特集記事制作協力など、種類は多岐にわたっている。今後も地下空間の有用性の普及に対し、精力的な活動をしていく予定である。

地下空間研究委員会の設置から26年経過したが、その間わが国の地下空間利用を取り巻く環境は大きく変わってきている。いわゆる「大深度法」の成立や地下街に関する規制の緩和などが進んでいる中、各種の都市問題解決のために地下空間が果たしてきた役割は大きいといえる。

一方、千年に一度と言われ未だその社会的な影響が続く東日本大震災においても、大規模な地下空間の損傷などは報じられず、地震時における地下空間の構造的安全性が高いことが示された。さらに、被

災時の帰宅困難者の問題の課題解決にも関心が高まっていることから、都市の中での災害対応としての地下空間の利用も検討すべきテーマといえる。加えて、賑わいを生み出す“まち”の創造には、地上と地下の一体とした、多層的な都市空間の開発・整備が不可欠である。また、気候変動による豪雨・洪水被害の甚大化を考えれば、今後の地下空間の防災・減災の在り方の検討は急務の課題と言え、さらに、閉鎖性空間であるがゆえに、火災・水災に対する防止策と適切な避難誘導策には十分な議論が必要である。また、地下空間を効果的に活用するための心理特性の解明とその活用、災害時の避難に関する心理ストレスへの対処・対策も十分に整理されるべき課題である。そして、継続的に発展するために、地下空間の維持・管理の在り方を議論し、スキルとして蓄積し、次の世代につなげることも重要である。そして、これら地下空間の活用および安全の達成には、多くの住民の理解が不可欠である。上記のように、地下空間利用に関わる課題は未だ多い。本委員会は、これまでの研究成果や、各方面との意見交換から得られた知見を基に、広く一般に対して提言や広報を実施していくとともに、今後とも安全・安心・快適な地下空間づくりを目指して、研究を進めてゆく所存である。

これまでの歴代委員長は以下のとおりである。

表 1.1 地下空間研究委員会の歴代委員長（1994～2020）

任期（年度）	委員長	任期（年度）	委員長
1994～1996	日比野 敏（電力中央研究所）	2009～2012	岸井 隆幸（日本大学）
1997～1998	足立 紀尚（京都大学）	2013～2014	戸田 圭一（京都大学）
1999～2001	西 淳二（名古屋大学）	2015～2018	石垣 泰輔（関西大学）
2002～2004	今田 徹（東京都立大学）	2019～	木村 定雄（金沢工業大学）
2005～2008	大西 有三（京都大学）		

1.2.小委員会活動の報告

当委員会では、1995 年度に 4 つの研究小委員会委員を公募し、①地下空間利用効果、経済評価に関する研究、②地下構造物のメンテナンスの現状分析、③都市防災における地下空間の役割に関する研究、④地下空間内移動の心理的研究、を対象に 1996 年度から活動している。4 研究小委員会はそれぞれ 3 年をとりまとめ期間とし以下のような研究を実施してきた。

4 研究小委員会のほかに、毎年開催されるシンポジウムならびに見学会を企画運営する地下空間シンポジウム実行委員会と、シンポジウム開催時に発行される論文を審査する地下空間シンポジウム表彰委員会が常設されている。

1.2.1 第一期（1996～1998 年度）

- 計画小委員会：各委員へのアンケート調査に基づき、地下空間の利用効果に関わる評価項目、および評価手法を調査・研究
- 環境・防災小委員会：阪神・淡路大震災の被害事例の収集、および地下空間における防災機能の調査・研究。
- 心理小委員会：地下空間における人間行動の調査・実験、および地下空間での避難時行動に関する調査・研究
- 維持・管理小委員会：各種地下構造物の維持・管理手法の実態調査

1.2.2.第二期（1999～2001 年度）

- 計画小委員会：総合的・一体的な地下空間利用技術の提案、地下空間利用の有用性の整理・分析やその評価手法の研究、およびあらたな地下空間利用の可能性についての調査研究
- 地下防災小委員会：災害に強い都市作りを目的とした地下空間利用のあり方を調査・研究
- 環境・心理小委員会：公共的地下空間の評価基準を調査・研究
- 維持・再生小委員会：地下構造物の維持・再生技術に関する調査・研究

1.2.3.第三期（2002～2004 年度）

- 計画小委員会：都市空間の再編に結びつく地下空間の計画システム、事業システム、評価システム等に関する調査研究を実施
- 防災小委員会：防災都市造りにおける地下空間の役割の検討、及び地下空間における防災に関する調査研究を実施
- 心理小委員会：心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、地下施設への適用を検討
- 維持・再生小委員会：地下構造物の合理的な維持管理について、要求性能と長寿命化の観点から検討を加え、構造物の建設のための調査から設計、建設、施工管理、維持管理までの留意点と最新技術に関する研究を実施

1.2.4.第四期（2005 年度～2007 年度）

- 計画小委員会：海外事例、国内事例に基づく地下空間利用の計画システム、事業化システムと有用性評価に関する調査研究を実施
- 防災小委員会：防災に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方として、バリアフリー、浸水、火災について調査・研究を実施
- 心理小委員会：公共的地下空間の出口探索行動、移動手段の違いによる心理的生理的影響に関する研究を実施
- 維持管理小委員会：アセットマネジメントの観点に立った地下構造物の維持管理手法に関する調査研究
- 普及小委員会：一般の方々に広く地下空間利用の有用性を認識していただくための検討を実施

1.2.5.第五期（2008 年度～2010 年度）

- 計画小委員会：地下空間利用に係る法制度等の調査研究、鉄道・道路等の建設事例に基づく地下空間利用の有用性評価手法に関する調査研究を実施
- 防災小委員会：防災に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方として、バリアフリー、浸水、火災について調査・研究
- 心理小委員会：公共的地下空間の QOL による評価手法、非常時の行動に関する研究を実施
- 維持管理小委員会：アセットマネジメントの観点に立った地下構造物の維持管理手法に関する調査研究
- 普及小委員会：一般の方々に広く地下空間利用の有用性を認識いただくための検討

1.2.6.第六期（2011 年度～2013 年度）

- 計画小委員会：大規模災害への対応など含めて、地下空間と地上空間の立体的な利用を想定した計画システム・事業システム・有用性評価に関する調査研究を実施
- 防災小委員会：地下空間における防災について、総合的かつ実践的な研究を推進する事を目的に、災害に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方をテーマとしている。
- 心理小委員会：公共的地下空間の知覚環境に関する研究をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、フィールド実験を中心に検討を行い、その成果を実際の地下施設へ適用することを目的とする。
- 維持管理小委員会：アセットマネジメントの観点に立った地下構造物の維持管理システムに関する調査研究。および、これまでの研究成果をまとめたライブラリーの出版を準備。

1.2.7.第七期（2014 年度～2016 年度）

- 計画小委員会：今後のまちづくりにおける地下空間の果たす役割について、地下空間ネットワー

ク形成，リノベーションや防災・減災といった観点と，過去に議論された地下空間の有効利用や地下空間のあり方をもとに，事例調査を通しつつ，多角的な視点からより良い都市の地下空間整備のあり方について検討。

- 防災小委員会：地下空間における防災について，総合的かつ実践的な研究を推進する事を目的に，災害に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方をテーマとしている。
- 心理小委員会：公共的地下空間の知覚環境に関する研究をテーマとし，心理学の観点から，地下空間における人間の行動について研究し，公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境，災害時行動などに重点を置き，フィールド実験を中心に検討を行い，その成果を実際の地下施設へ適用することを目的とする。
- 維持管理小委員会：国際標準・アセットマネジメントシステム（ISO5500X）における実践マネジメントシステムを参考に，トンネル構造物を対象として，実践的なマネジメントの一道具となる性能規定の枠組みの調査・検討を実施する。

1.2.8.第八期（2017 年度～2019 年度）

- 計画小委員会：今後のまちづくりにおける地下空間の果たす役割について，事例調査を行うことにより地下空間ネットワーク形成，リノベーションや防災・減災といった観点と，過去に議論された地下空間の有効利用や地下空間のあり方をもとに，よりよい都市地下空間整備を行うための方策を検討する。
- 防災小委員会：街づくりにおける地下空間の役割を重視し，地上・地下を含めた都市の在り方を見据えながら，地下空間における防災について総合的かつ実践的な研究を推進する。「災害に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方」を研究テーマとし，検討する。
- 心理小委員会：公共的地下空間の知覚環境に関する研究をテーマとし，公共的地下空間の多様な利用者の知覚感覚，災害時行動などに重点を置いた検討を通じて，その成果を実際の地下施設への適用に資することを目的とし，検討する。
- 維持管理小委員会：国際標準・アセットマネジメントシステム（ISO5500X）における実践マネジメントシステムの構築の必要性を理解した上で，トンネル構造物を対象に，実践的なマネジメントの一道具となる点検・評価・対策の一連の実態を調査・検討する。

1.3.受託研究

- 2001 年度 大深度地下利用に関する技術開発ビジョンの検討に関する調査（躯体構造物の耐久性・維持補修技術部門），国土交通省
- 2001 年度 大深度地下利用に関する技術開発ビジョンの検討に関する調査（空間設計技術部門），国土交通省
- 2003 年度 大深度地下におけるバリアフリー化の推進・アメニティの向上に関する検討調査，国土交通省
- 2004 年度 大深度地下におけるバリアフリー化の推進・アメニティの向上に関する検討調査，国土交通省

1.4.重点研究課題

- 2003 年度 地下空間における火災防止と被害軽減のあり方－韓国地下鉄火災より
- 2005 年度 地下空間浸水時の避難・救助システムに関する研究
- 2006 年度 地下空間利用工学の創生（トンネル工学委員会と共同）

1.5.研究助成

- 2009 年度 鹿島学術振興財団研究助成，地下空間における行動分析の実験的研究
ー利用者の視点を重視した地下利用計画指針の策定に向けてー

1.6.編集出版物

- 地下空間シンポジウム論文・報告集（第 1 巻（1995 年度）～25 巻（2020 年 1 月））
- 地下空間と人間 シリーズ 1～4（1995 年発刊）
- みんなが知りたい地下の秘密，SoftBank Creative，（2010 年 4 月発刊） 委員会メンバーによる執筆
- 地下空間ライブラリー 地下空間のアセットマネジメント導入に向けてー（2015 年 2 月発刊）

1.7.委員会の主催行事

1.7.1.地下空間シンポジウムおよび見学会

第 1 回から第 25 回まで毎年参加者約 200 名～300 名余を得て開催している．なお，各回のテーマおよび同時開催される見学会は次の通りである．

- 第 1 回：1995 年 12 月 6 日開催
テーマ「調和的国土空間の創造を目指して」
見学会「東京湾横断道路，みなとみらい 21」
- 第 2 回：1997 年 1 月 17 日開催
テーマ「(なし)」
見学会「都営 12 号線新宿地下駅，ミニドーム」
- 第 3 回：1998 年 1 月 14 日開催
テーマ「(なし)」
見学会「多摩川第一換気所，高速川崎縦貫線大師 JCT」
- 第 4 回：1999 年 1 月 13 日開催
テーマ「よりよい都市の発展に期待できる大深度地下の有効利用」
見学会「地下鉄 12 号線六本木駅，国会図書館新館（地下部）」
- 第 5 回：2000 年 1 月 14 日開催
テーマ「環境と共生できる地下空間をめざして」
見学会「圏央道青梅トンネル工事」
- 第 6 回：2001 年 1 月 14 日開催
テーマ「21 世紀の都市の創造と再生に向けて」
見学会「首都高中央環状王子線・新宿線工事」
- 第 7 回：2002 年 1 月 12 日開催
テーマ「都市再生と地下利用」
見学会「つくばエクスプレス（常磐新線）建設工事他」
- 第 8 回：2003 年 1 月 18 日開催
テーマ「ストック&メンテナンス時代の地下空間利用」
見学会「東京電力・神流川地下発電所建設現場」
- 第 9 回：2004 年 1 月 16 日開催
テーマ「地下空間整備と公民協働」
見学会「みなとみらい 21 線，地下鉄 13 号線（仮称：新千駄ヶ谷駅），首都高中央環状新宿線建設現場（中野坂上）」
- 第 10 回：2005 年 1 月 14 日開催

テーマ「動きはじめた大深度地下利用—この10年を振り返って—」

見学会「つくばエクスプレス（秋葉原駅）、東京メトロ地下鉄13号線（新宿3丁目駅）、
首都高速中央環状新宿線（東中野駅付近）」

○第11回：2006年1月11日開催

テーマ「時代の求める地下空間とは」

見学会「小田急下北沢地区線増連立事業第三工区、首都高速道路新宿線建設工事富ヶ谷工区」

○第12回：2007年1月17日開催

テーマ「歴史に学ぶ地下空間利用」

見学会「小田急線下北沢地区線増連立事業、首都高速道路新宿線建設工事富ヶ谷工区」

○第13回：2008年1月16日開催

テーマ「都市問題解決のために地下空間が果たしてきた役割」

見学会「東京メトロ副都心線・東急東横線渋谷駅（地下新駅）、小田急線下北沢地区線
増連立事業」

○第14回：2009年1月23日開催

テーマ「都市問題解決のために地下空間が果たしてきた役割」

見学会「小田急線 下北沢地区線増連立事業（連続立体交差事業および複々線化事業）、
首都高速中央環状新宿線大橋ジャンクション、小田急線下北沢地区線増連立事業」

○第15回：2010年1月19日開催

テーマ「低炭素社会と地下空間利用～そのさらなる可能性～」

見学会「首都高速中央環状品川線（シールド工事現場）建設現場」

○第16回：2011年1月18日

テーマ「低世界に挑む日本の技術～成長戦略と地下技術との関わり～」

見学会「東京駅丸の内駅舎保存・復原工事および駅周辺施設」

○第17回：2012年1月20日開催

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて～巨大災害に対する地下空間の役割～」

見学会「汐留地区、環状2号線地下トンネル」

○第18回：2013年1月16日開催

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて～大規模水害に対する地下空間の現状と課題～」

見学会「渋谷駅街区基盤整備事業 東横線地下渋谷駅ほか」

○第19回：2014年1月22日

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて ～社会のレジリエンス向上に向けた地下空間の可能性～」

見学会「首都高速中央環状品川線 大橋連結路工事現場」

○第20回：記念大会 2015年1月23日開催

テーマ「地下空間の未来～20年を振り返って より安全により便利にもっと身近に～」

見学会「東京外環自動車道 田尻工区工事現場」

○第21回：2016年1月22日開催

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて～地下空間における災害時対応と今後の取組～」

見学会「東京外環自動車道 東名JCT及び大泉JCT 立坑工事現場」

○第22回：2017年1月20日開催

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて～地下空間の維持更新と機能向上～」

見学会「小田急電鉄小田原線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体化事業および
複々線化事業 下北沢駅付近工事現場」

○第23回：2018年1月24日開催

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて～都市機能の向上を目指した地下空間ネットワ
ークの形成～」

見学会「相鉄・東急直通線 新綱島駅（仮称）工事現場」

○第24回：2019年1月25日開催

テーマ「安全・安心な社会の形成に向けて～利用者の多様化と増加に対応した人にやさしい地下空間～」

見学会「都道環状第2号線トンネル部～虎ノ門ヒルズ」

○第25回：2020年1月24日開催

テーマ「次世代に向けた持続性の高い地下空間の創造 ～みんなで考えるイワのあり方～」

見学会「東京メトロ東西線南砂町駅改良工事」

○第26回：2021年1月20日開催予定

テーマ「次世代に向けた持続性の高い地下空間の創造 サブテーマは未定」

見学会 未定

【参考：小委員会時代のシンポジウム開催実績】

○地下空間利用に関するシンポジウム（1988.10）：テーマ「国土の地下利用と技術」、「都市地下空間の利用を考える」

○地下空間シンポジウム 1989（1989.11）：テーマ「地下空間利用による新しい都市空間の建設を目指して」

○地下空間シンポジウム 1990（1990.12）：テーマ「地下空間利用による豊かな国土の建設を目指して」

○地下空間シンポジウム 1992（1992.6）：テーマ「人、自然と調和する地下空間」

○地下空間シンポジウム 1993（1993.6）：テーマ「人、自然と調和する地下空間」

○地下空間シンポジウム 1994（1994.6）：テーマ「人、自然と調和する地下空間利用」

1.7.2.講習会、セミナー等

○1995年度：「地下空間と人間」の出版記念講習会（東京、札幌、大阪）

○2002年度：成果報告会

○2005年9月8日：委員会研究成果報告会

○2008年8月5日：委員会研究成果報告会

○2011年8月1日：委員会研究成果報告会

○2014年3月14日：地下空間の防災・減災セミナー① ～水害時の避難を中心に～（大阪）

○2014年7月31日：委員会研究成果報告会

○2014年10月25日：地下空間の防災・減災セミナー② -水害時の避難を中心に-（大阪）

○2014年12月5日：京大防災研共催一般研究集会 地下街・地下鉄の水害リスクマネジメント

○2014年12月5日：地下鉄銀座線見学会（心理小委員会）（東京）

○2015年2月28日：地下空間の防災・減災セミナー③ 地下浸水の対策と課題（名古屋）

○2015年3月13日：「地下構造物のアセットマネジメント導入に向けて」講習会（東京）

○2015年7月24日：「地下構造物のアセットマネジメント導入に向けて」講習会（大阪）

○2015年8月28日：平成27年度 富山県土木部技術職員研修（道路）

○2015年9月1日：平成27年度 第3回福井県道路メンテナンス研修

○2015年9月1日：石川県メンテナンス講習会

○2015年10月30日：地下空間の防災・減災セミナー④ 地下浸水の対策と課題（東京）

○2015年11月6日：第1回地下空間維持管理セミナー（長崎）

○2016年3月5日：地下空間の防災・減災セミナー⑤ 対策とその課題（大阪）

○2016年9月30日：第2回地下空間維持管理セミナー（札幌）

○2016年10月19日：第1回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）

○2016年11月21日：東京駅周辺ネットワーク見学会①（計画小委員会）（東京）

○2016年12月2日：京大防災研共催一般研究集会 極端気象下に地下の水災害にいかに対応するか

○2017年2月7日：第2回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）

- 2017年3月4日：「地下空間の防災・減災セミナー⑥ 地下街の取り組み（名古屋）」
- 2017年6月9日：第3回地下空間維持管理セミナー（広島）
- 2017年7月28日：委員会研究成果報告会
- 2017年10月6日：第4回地下空間維持管理セミナー（仙台）
- 2017年12月9日：「地下空間の防災・減災セミナー⑦」（大阪）
- 2017年12月12日：東京駅周辺ネットワーク見学会②（計画小委員会）（東京）
- 2017年12月20日：第5回地下空間維持管理セミナー（岐阜）
- 2018年2月21日：第3回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）
- 2018年4月18日：第4回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）
- 2018年7月20日：第6回地下空間維持管理セミナー（名古屋）
- 2018年8月24日：第7回地下空間維持管理セミナー（金沢）
- 2018年8月30日：札幌中心部地下空間ネットワーク見学会（計画小委員会）（札幌）
- 2018年10月3日：第5回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）
- 2018年10月31日：東京ミッドタウン日比谷見学会（計画小委員会）（東京）
- 2018年11月16日：第8回地下空間維持管理セミナー（郡山）
- 2018年12月22日：「地下空間の防災・減災セミナー⑧」（大阪）
- 2019年2月14日：第6回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）
- 2019年6月20日：第9回地下空間維持管理セミナー（金沢）
- 2019年7月20日：「地下空間の防災・減災セミナー⑨」（福岡）
- 2019年9月19日：第7回 人にやさしい地下空間セミナー（東京）
- 2019年10月10日：第10回維持管理セミナー（広島）
- 2019年10月15日：渋谷駅東口地下空間及びその周辺見学会（計画小委員会）（東京）
- 2019年12月14日：京大防災研共催一般研究集会 都市域での水難事故発生の危険性の解明とその対応策（防災小委員会）（京都）

1.7.3.土木学会全国大会研究討論会

- 1995年度：「大震災と地下空間の役割」
- 2000年度：「地下防災を考えるー特に都市における水害対策ー」
- 2001年度：「地下空間の有効利用への課題ー浅深度から大深度への展開に向けてー」
- 2005年度：「地下から宇宙の謎へ（土木工学と最先端技術の融合）」
（岩盤力学委員会特別小委員会主催，トンネル工学委員会共催）
- 2006年度：「安全・安心・快適な地下空間の構築とデザイン」
- 2007年度：「地下構造物のライフサイクルデザイン／マネジメント」
～時代に求められる良質な地下構造物のつくり方とつかい方のトレンド～
（トンネル工学委員会共催）
- 2008年度：「豊かで活力ある地域・都市づくりのための地下空間への期待」
～これからの地下空間に求められるものとは～
- 2009年度：「地下空間における既設構造物のアセットマネジメントの現状と課題」
- 2010年度：「時代が求める地下空間利用のあり方」
- 2012年度：「地下空間の防災・減災と災害時避難」
- 2013年度：「都市再生と地下空間ー期待と展望ー」（土木計画学研究委員会共催）
- 2015年度：「地下空間における災害時のリスク軽減と空間活用」
- 2017年度：「人にやさしい地下空間の創造に向けて～ わかりやすさ，歩きやすさ ～」
- 2018年度：「大都市中心部における地下空間の果たす役割～札幌中心部エリアネットワークの現状と将来展望～」

1.7.4.土木学会全国大会年次学術講演会（共通セッション）

○1996～2020 年度：テーマ「地下空間の多角的利用」

1.7.5.夏休み親子見学会

2007 年に第 1 回夏休み親子見学会を東京、大阪の 2 つの会場で開催し、以後毎年開催して 2019 年で第 13 回を重ねている。テーマを「みんなで触れよう，考えよう，想像しよう こんなにおもしろい地下空間」とし、夏休みの自由研究に活用可能とするため、7 月末から 8 月最初の土曜日を基本に開催している。今年度はコロナ禍の影響を受けて、現地見学会の開催は難しい状況であるが、現在、可能な限り実施できるよう、検討している。

○第 1 回：2007 年 8 月 22 日開催

東京会場「東京メトロ副都心線 新宿三丁目駅付近」

大阪会場「京阪電鉄中之島線 天満橋駅付近」

○第 2 回：2008 年 8 月 2 日開催

東京会場「首都高中央環状新宿線建設現場」

大阪会場「阪神なんば線建設現場」

○第 3 回：2009 年 8 月 1 日開催

東京会場「東急東横線 渋谷駅～代官山駅間 地下化 工事現場」

大阪会場「阪神高速道路 淀川左岸線 工事現場」

○第 4 回：2010 年 8 月 7 日開催

東京会場「J R 新宿駅南口周辺 建設現場」

○第 5 回：2011 年 7 月 30 日開催

東京会場「東京急行電鉄株式会社 東横線渋谷～代官山間 改良工事現場」

大阪会場「阪神高速道路株式会社 大和川線 工事現場」

○第 6 回：2012 年 7 月 28 日開催

東京会場「相鉄・J R 直通線，羽沢駅他工事 工事現場」

大阪会場「一般国道 京都西立体交差事業 千代原口地区 工事現場」

○第 7 回：2013 年 7 月 27 日開催

東京会場「相鉄・J R 直通線，西谷トンネル他工事 工事現場」

○第 8 回：2014 年 7 月 26 日開催

東京会場「東京外かく 環状道路 市川中工事」

大阪会場「神戸市水道局 大容量送水管（奥平野工区）整備工事」

○第 9 回：2015 年 7 月 25 日開催

東京会場「東京外かく 環状道路 市川市田尻地区～平田地区」

○第 10 回：2016 年 7 月 30 日開催

東京会場「東京メトロ 東西線南砂町駅改良工事建設現場及び地下鉄博物館」

○第 11 回：2017 年 7 月 29 日開催

東京会場「相鉄・東急直通線，新横浜駅他工事」

○第 12 回：2018 年 7 月 28 日開催

東京会場「東京駅北通路周辺整備工事」→台風により中止

大阪会場「阪神電気鉄道梅田駅大規模改良工事」

○第 13 回：東京 2019 年 8 月 3 日，大阪 2019 年 8 月 1 日開催

東京会場「東京駅北通路周辺整備工事」

大阪会場「大阪駅東海道線支線地下化・新駅設置工事」

1.7.6.国際連携の推進

- 2019 年 11 月 5 日に、日本大学（神田駿河台）で、維持管理国際ジョイントセミナーが地下空間研究委員会と都市地下空間活用研究会の共催で開催された。委員会（委員長、副委員長等）および計画小委員会が実施運営を行った。ここでは、ルイジアナ工科大学名誉教授の Raymond Sterling 先生の講演、討論会があった。
- 2019 年 9 月 11 日に、高知大学で、The 2nd International Workshop on Urban Flood Management (UFM2019)が、地下空間研究委員会防災小委員会と高知大学・国際連携推進センターの共催で開催された。地下空間の代表的な防災的課題である浸水問題に関して、日本だけでなく、程 暁陶教授（中国水利水電科学研究院）をはじめとする中国他の水工学の研究者と連携して、流域治水、河川整備、都市浸水に関する総合的な都市浸水管理の国際ワークショップを開催し、情報共有を行った。

1.8.地下空間の普及活動

1.8.1.マスコミ、出版社への協力

普及活動の一環として、テレビ局、ラジオ局、出版社、新聞等への協力を通し、広く地下施設の有用性等を発信している。そのうちの代表的なものを以下に示す。

- 2008 年 4 月 14 日放映 テレビ朝日「近未来予測テレビ ジキルとハイド」 2 時間 SP
“いま日本の地下がすごい！！謎の大都市地下空間、一挙大公開スペシャル”への製作協力、番組出演
- 2012 年 10 月 27 日放映 フジテレビ「リアルスコープ」地下探検 SP への製作協力
- 2013 年 3 月 20 日放映 NHK BS プレミアム「探訪 東京地下迷宮」 地下研と共に番組製作協力、番組出演
- 2013 年 4 月 10 日放映 NHK 「クローズアップ現代 広がる地下迷宮 都市の地下開発最前線」 地下研と共に製作協力、番組出演
- 2013 年 4 月 11 日発行 宝島社 別冊宝島 1995 号「潜入 TOKYO 地下ダンジョン」編集協力、インタビュー記事掲載
- 2013 年 4 月 18 日放送 FM ラジオ J-WAVE「JAM the WORLD 東京再考」番組出演
- 2013 年 9 月 3 日発行 刊誌「東京人」10 月号 特集「東京アンダーグラウンド 地下に伸びる都市」編集協力、記事執筆、親子見学会取材
- 2014 年 3 月 15 日放映 TV 神奈川 「みんなで参加・連携 新しい川づくりと地域の安全のために」 地下研と共に製作協力、番組出演
- 2014 年 11 月～2015 年 2 月発刊 こどもクラブ「地下のひみつ」全 4 巻 監修
- 2016 年 12 月 1 日放映 NHK 総合テレビ 時論公論「広がる地下空間ネットワークと安全」制作協力、資料提供、松本解説委員の現場見学案内
- 2017 年 5 月 13 日発行 朝日新聞土曜版 be on Saturday 「地下特集」 編集協力
- 2017 年 3 月 ミネルヴァ書房 書籍「ニッポン再発見 地下街」執筆対応（活動中）
- 2017 年 7 月 日刊建設通信新聞社 夏休み親子見学会取材対応
- 2017 年 7 月 朝日新聞「be on Saturday」地下特集への取材協力
- 2018 年 8 月 土木学会誌 8 月号 地下空間特集 掲載
「地下街は快適ですかーいま、都市の地下空間を考えるー」
- 2018 年 11 月 小学館「こども大百科 もっと大図解」マンホール部分の監修 対応の継続中
- 2019 年 2 月 10 日放映 NHK スペシャル「東京リボーン第 2 集 巨大地下迷宮」制作協力
- 2019 年 11 月 16 日掲載 日本経済新聞 日経プラスワン 何でもランキング「魅惑の地下空間」協力

1.8.2. 早稲田大学エクステンションセンターの講義

当委員会は外部からの要請による地下空間の普及活動にも力を入れており、なるべく多くの方々に対して地下の有用性を解説する機会を設けている。その中で2012年～2014年にかけて早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校からの依頼により講師派遣を実施した。

早稲田大学エクステンションセンターは"Extension"（＝拡張，開放）の意味するとおり，早稲田大学の研究・教育機能を広く社会に開放するための機関で，1981年に発足した機関である。講師は早稲田大学の教授・名誉教授をはじめ，第一線の学者・実務家等が担っており，1988年には公開講座の総称を「オープンカレッジ」と改め，独自の単位制度を導入している。

テーマは「東京の地下空間」と題して，1シーズンを複数回，複数の講師によるオムニバス形式で，1回あたり30名の定員で実施した。

○2012年度 「東京の地下空間」

2011年7月13日～9月7日まで 8講義

○2013年度 「東京の地下空間」 サブテーマ：発達し続ける建設・防災技術について

2012年7月16日～9月10日まで 8講義

○2014年度 「東京の地下空間」 中央区民カレッジとの連携で実施

2014年10月15日～2015年2月18日まで 5講義

今後もこのような機会があれば，積極的に対応していく予定である。

1.9.学会内他委員会および外部組織との関係

1.9.1.地下空間シンポジウムの後援

当委員会主催の「地下空間シンポジウム」では，次の学協会からの後援を得て毎年開催している。

（一社）日本建築学会，（公社）日本都市計画学会，（公社）地盤工学会，（一社）資源・素材学会，（一社）日本応用地質学会，（一財）エンジニアリング協会，都市地下空間活用研究会，

2004年度より国土交通省，2013年度より岩の力学連合会，2014年度より全国地下街連合会

1.9.2.トンネル工学研究委員会と共同で地下空間利用工学創生を目指す

トンネル工学委員会との共同により，「都市地下空間利用工学の創生」と題した研究テーマについて，科学研究費補助金の基盤研究（企画調査）に応募した。

1.9.3.重点研究課題の共同取り組み

○2006年度 重点研究課題において，トンネル工学委員会と共催して「地下空間利用工学の創生」を提案，採択されて実施。

1.9.4.研究討論会の共同取り組み

○2005年度：「地下から宇宙の謎へ（土木工学と最先端技術の融合）」岩盤力学委員会特別小委員会，トンネル工学委員会との共催

○2007年度：「地下構造物のライフサイクルデザイン／マネジメント～時代に求められる良質な地下構造物のつくり方とつかい方のトレンド～」トンネル工学委員会との共催

○2013年度：「都市再生と地下空間－期待と展望－」土木計画学研究委員会との共催

1.9.5.見学会の共同取り組み

第7回夏休み親子見学会において，電子情報通信学会東京支部の後援を受けて開催。以後地盤工学会関東支部等の後援を受け現在に至っている。

1.10.委員会活動の課題および将来計画・展望

委員会発足以来 26 年余が経過し、この間、世の中の地下空間に対する視線も大きく変化してきた。委員会に対する各種要望や、従来とは異なった団体からの協力依頼も増加し、委員会としての役割も大きく変化し、また期待も大きくなってきている。今後はこれまでの研究成果を総括し、未来への展望を議論し、改めて進むべき道筋を明確にすることにより、今後の地下空間のあり方を議論していくとともに、得られた知見を積極的に外部に公開しつつ、それらの期待に応えていきたいと考えている。

【中長期事業計画構想】

- ・地下空間の有用性に係る評価手法の確立
- ・公民協力による地下空間の有効活用手法の確立
- ・大規模災害を想定し、平時にも有効な地下空間の防災・避難システムの提案
- ・大規模災害時における地下空間の有効活用
- ・さまざまな利用者に対して、ひとにやさしい地下空間のありかたを検討
- ・地下構造物の維持監理の必要性、および維持管理・劣化に係わる評価手法の検討
- ・既存設備の維持・再生、機能向上する技術の確立
- ・地下空間の有用性、防災・減災についての普及活動の推進

さらにこれらの活動を進めるに当たり、他学会、他委員会との連携を図り、より広い視野で調査研究活動を推進すると共に、これらの活動より得られた知見を国内のみでなく広く海外にも情報発信を行い、我が国の地下に関わる情報・技術を活用して国際貢献を果たして行きたい。

1.11. 第八期地下空間研究委員会名簿（2017 年度から 2019 年度）

2017年 地下空間研究委員会

区分	氏名	団体	所属	小委員会等役職
委員長	石垣 泰輔	関西大学	環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
副委員長	松谷 春敏	(株)IHI	顧問	計画小委員会副委員
幹事長	酒井 喜市郎	鉄建建設(株)	常務執行役員土木本部副本部長	
副幹事長	土門 剛	首都大学東京	大学院 都市環境学部 都市環境学科 助教	
委員	青柳 太	国土交通省	街路交通施設課 街路事業調整官	
委員	岩崎 裕直	仙台市建設公社	常務理事兼事務局長兼総務部長	
委員	大塚 正博	鹿島建設(株)	土木管理本部 技師長	
委員	岡原 貴司	首都高速道路(株)	計画・環境部計画調整課 課長代理	
委員	荻野 竹敏	東京地下鉄(株)	鉄道本部改良建設部設計課 課長	
委員	大沢 昌玄	日本大学	理工学部土木工学科教授	計画小委員会委員長
委員	海瀬 忍	(株)高速道路総合技術研究所	道路研究部トンネル研究室 室長	
委員	粕谷 太郎	地下空間利・活用研究所	所長	シンポジウム実行委員会副委員長
委員	亀村 勝美	(公財)深田地質研究所	専務理事	
委員	岸田 潔	京都大学大学院	工学研究科 都市社会工学専攻 教授	
委員	木村 定雄	金沢工業大学	環境・建築学部 環境土木工学科 教授	維持管理小委員会委
委員	京谷 孝史	東北大学	大学院工学研究科 土木工学専攻 教授	
委員	小島 芳之	(公財)鉄道総合技術研究所	構造物技術研究部 主管研究員	
委員	齊木 功	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機	鉄道建設本部 中央新幹線調査室 リニア実験線建設課	
委員	清水 満	東日本旅客鉄道(株)	構造技術センター 次長	
委員	須田 武憲	株式会社GK設計	代表取締役社長	心理小委員会委員長
委員	瀬戸 政宏	(国研)産業技術総合研究所	理事 イノベーション推進本部長	
委員	武田 誠	中部大学	工学部都市建設工学科 教授	防災小委員会委員長
委員	谷崎 馨一	東京都	都市整備局 都市基盤部 交通企画課 課長	
委員	並川 賢治	首都高速道路(株)	技術部 部長	
委員	西田 幸夫	埼玉大学	理工学研究科 特任准教授	
委員	服部 卓也	国土交通省(千葉市)	千葉市都市局長	
委員	服部 修一	鉄道運輸機構		シンポジウム実行委員会委員長
委員	松井 直人	三菱地所(株)	顧問	
委員	松永 浩	東京電力ホールディングス(株)	福島本部 除染推進室(浜通南地域担当)いわき拠点長	
委員	三田 武	(株)日建設シビル	都市基盤・エンジニアリング部門 技師長	心理小委員会副委員
委員	望月 明彦	東京地下鉄(株)	常務取締役	
委員	森山 守	中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)	金沢支店 技術管理部	維持管理小委員会副委員長
委員	吉田 信博	国土交通省(宇都宮市)	副市長	
委員	三浦 良平	国土交通省	総合政策局交通計画課交通計画課地域振興室長	
委員	和氣 典二	神奈川大学	視科学研究所 客員教授	
委員	馬場 康之	京都大学	防災研究所白浜海象観測所 准教授	シンポジウム表彰委員会委員長
統括幹事	安藤 慎一郎	(株)竹中土木	東京本店 技術・設計部 技術部長	
統括幹事	斎藤 優貴	パシフィックコンサルタンツ(株)	交通技術本部 トンネル部 都市トンネル室	
統括幹事	清木 隆文	宇都宮大学	大学院工学研究科 地球環境デザイン学専攻 社会基盤デザイン学コース 准教授	
幹事	池尻 健	(株)セントラル技研	地盤技術部 部長	維持管理小委員会幹事
幹事	岡本 慎一	鉄建建設(株)	東京支店土木営業部長	シンポジウム実行委員会幹事
幹事	尾崎 平	関西大学	環境都市工学部 都市社会工学科 准教授	防災小委員会幹事
幹事	小山 倫史	関西大学	社会安全学部 准教授	シンポジウム表彰委員会幹事
幹事	重岡匠	東京電力ホールディングス(株)	土木建築エンジニアリングセンター	防災小委員会幹事
幹事	重田 佳幸	パシフィックコンサルタンツ(株)	インフラマネジメント部 トンネル・地下構造担当 技術部長	維持管理小委員会幹事
幹事	関 蘭果	(株)竹中土木	技術生産本部技術開発部	計画小委員会幹事、シンポジウム実行委員会幹事
幹事	加藤 完治	株式会社GK設計	取締役	心理小委員会幹事
幹事	大門 創	福山市立大学	都市経営学部 都市経営学科 准教授	計画小委員会幹事
委員会顧問	大西 有三	関西大学	環境都市工学部 特任教授	
委員会顧問	岸井 隆幸	(公財)都市づくりパブリックデザインセンター(日本大学)	理事長(理工学部特任教授)	
委員会顧問	工藤 康博			
委員会顧問	戸田 圭一	京都大学	大学院 経営管理研究部 教授	
委員会顧問	西 淳二	NPOジオテクチャーフォーラム	理事	
委員会顧問	野焼 計史	東京地下鉄(株)	常務取締役鉄道本部長	
委員会顧問	中山 学	神戸学院大学	現代社会学部 社会防災学科	
委員会顧問	石田 敏郎	早稲田大学	人間科学研究科 石田研究室 教授	

2018年 地下空間研究委員会

区分	氏名	団体	所属	小委員会等役職
委員長	石垣 泰輔	関西大学	環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
副委員長	松谷 春敏	(株)IHI	顧問	計画小委員会副委員
幹事長	酒井 喜市郎	鉄建建設(株)	常務執行役員土木本部副本部長	
委員	青柳 太	国土交通省	街路交通施設課 街路事業調整官	
委員	岩崎 裕直	仙台市建設公社	常務理事兼事務局長兼総務部長	
委員	岡原 貴司	首都高速道路(株)	計画・環境部計画調整課 課長代理	
委員	荻野 竹敏	東京地下鉄(株)	鉄道本部改良建設部設計課 課長	
委員	大沢 昌玄	日本大学	理工学部土木工学科教授	計画小委員会委員長
委員	海瀬 忍	(株)高速道路総合技術研究所	道路研究部トンネル研究室 室長	
委員	粕谷 太郎	地下空間利・活用研究所	所長	シンポジウム実行委員会副委員長
委員	亀村 勝美	(公財)深田地質研究所	専務理事	
委員	岸田 潔	京都大学大学院	工学研究科 都市社会工学専攻 教授	
委員	木村 定雄	金沢工業大学	環境・建築学部 環境土木工学科 教授	維持管理小委員会委
委員	京谷 孝史	東北大学	大学院工学研究科 土木工学専攻 教授	
委員	岡野 法之	(公財)鉄道総合技術研究所	構造物技術研究部 構造物技術研究部 トンネル研究室	
委員	都築 保男	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機	工務部工務第一課長設課長	
委員	中島 高志	東京都	都市整備局理事	シンポジウム実行委員会委員長
委員	渡邊 明之	東日本旅客鉄道(株)	構造技術センター 次長	
委員	須田 武憲	株式会社GK設計	代表取締役社長	心理小委員会委員長
委員	武田 誠	中部大学	工学部都市建設工学科 教授	防災小委員会委員長
委員	土門 剛	首都大学東京	大学院 都市環境学部 都市環境学科 助教	
委員	長尾 肇太	東京都	都市整備局 都市基盤部 交通企画課 課長	
委員	並川 賢治	首都高速道路(株)	技術部 部長	
委員	西田 幸夫	埼玉大学	理工学研究科 特任准教授	
委員	服部 卓也	国土交通省(千葉市)	千葉市都市局長	
委員	服部 修一	鉄道運輸機構		
委員	松井 直人	三菱地所(株)	顧問	
委員	松永 浩	東京電力ホールディングス(株)	福島本部 除染推進室(浜通南地域担当)いわき拠点長	
委員	三田 武	(株)日建設シビル	都市基盤・エンジニアリング部門 技師長	心理小委員会副委員
委員	望月 明彦	東京地下鉄(株)	常務取締役	
委員	森山 守	中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)	金沢支店 技術管理部	維持管理小委員会副委員長
委員	吉田 信博	国土交通省(宇都宮市)	副市長	
委員	三浦 良平	国土交通省	総合政策局交通計画課交通計画課地域振興室長	
委員	馬場 康之	京都大学	防災研究所白浜海象観測所 准教授	
委員	小山 倫史	関西大学	社会安全学部 准教授	シンポジウム表彰委員会委員長
統括幹事	安藤 慎一郎	(株)竹中土木	東京本店 技術・設計部 技術部長	
統括幹事	斎藤 優貴	パシフィックコンサルタンツ(株)	交通技術本部 トンネル部 都市トンネル室	
統括幹事	清木 隆文	宇都宮大学	大学院工学研究科 地球環境デザイン学専攻 社会基盤デザイン学コース 准教授	
幹事	池尻 健	(株)セントラル技研	地盤技術部 部長	維持管理小委員会幹事
幹事	岡本 慎一	鉄建建設(株)	東京支店土木営業部長	シンポジウム実行委員会幹事
幹事	尾崎 平	関西大学	環境都市工学部 都市社会工学科 准教授	防災小委員会幹事
幹事	小山 倫史	関西大学	社会安全学部 准教授	シンポジウム表彰委員会幹事
幹事	重岡匠	東京電力ホールディングス(株)	土木建築エンジニアリングセンター	防災小委員会幹事
幹事	重田 佳幸	パシフィックコンサルタンツ(株)	インフラマネジメント部 トンネル・地下構造担当 技術部長	維持管理小委員会幹事
幹事	関 蘭果	(株)竹中土木	技術生産本部技術開発部	計画小委員会幹事、シ
幹事	加藤 完治	株式会社GK設計	取締役	心理小委員会幹事
幹事	大門 創	福山市立大学	都市経営学部 都市経営学科 准教授	計画小委員会幹事
委員会顧問	大西 有三	関西大学	環境都市工学部 特任教授	
委員会顧問	岸井 隆幸	(公財)都市づくりパブリックデザインセンター(日本大学)	理事長(理工学部特任教授)	
委員会顧問	工藤 康博			
委員会顧問	戸田 圭一	京都大学	大学院 経営管理研究部 教授	
委員会顧問	西 淳二	NPOジオテクチャーフォーラム	理事	
委員会顧問	野焼 計史	東京地下鉄(株)	常務取締役鉄道本部長	
委員会顧問	中山 学	神戸学院大学	現代社会学部 社会防災学科	
委員会顧問	石田 敏郎	早稲田大学	人間科学研究科 石田研究室 教授	

2019年 地下空間研究委員会

区分	氏名	団体	所属	小委員会等役職
委員長	木村 定雄	金沢工業大学	環境・建築学部 環境土木工学科 教授	維持管理小委員会委員長
副委員長	酒井 喜市郎	鉄建建設(株)	常務執行役員土木本部副本部長	
副委員長	松谷 春敏	(株)IHI	顧問	計画小委員会副委員長
幹事長	武田 誠	中部大学	工学部都市建設工学科 教授	
委員	青柳 太	国土交通省	街路交通施設課 街路事業調整官	
委員	麻田 正弘	アルスコンサルタンツ(株)	取締役技術本部長	
委員	岩崎 裕直	仙台市建設公社	常務理事兼事務局長兼総務部長	
委員	大沢 昌玄	日本大学	理工学部土木工学科教授	計画小委員会委員長
委員	岡野 法之	(公財)鉄道総合技術研究所	構造物技術研究部 構造物技術研究部 トンネル研究室	
委員	岡原 貴司	首都高速道路(株)	計画・環境部計画調整課 課長代理	
委員	荻野 竹敏	東京地下鉄(株)	鉄道本部改良建設部設計課 課長	
委員	尾崎 平	関西大学	環境都市工学部 都市社会工学科 准教授	
委員	海瀬 忍	(株)高速道路総合技術研究所	道路研究部トンネル研究室 室長	
委員	粕谷 太郎	地下空間利・活用研究所	所長	シンポジウム実行委員会副委員長
委員	亀村 勝美	(公財)深田地質研究所	専務理事	
委員	岸田 潔	京都大学大学院	工学研究科 都市社会工学専攻 教授	
委員	京谷 孝史	東北大学	大学院工学研究科 土木工学専攻 教授	
委員	日下 敦	国立研究開発法人土木研究所	つくば中央研究所 道路技術研究グループ(トンネル) 上席研	
委員	小山 倫史	関西大学	社会安全学部 准教授	シンポジウム表彰委員会委員長
委員	須田 武憲	株式会社GK設計	代表取締役社長	心理小委員会委員長
委員	竹下 昭博	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機	工務部 工務第一課長	
委員	土門 剛	首都大学東京	大学院 都市環境学部 都市環境学科 助教	
委員	長尾 肇太	東京都	都市整備局 都市基盤部 交通企画課 課長	
委員	並川 賢治	首都高速道路(株)	技術部 部長	
委員	西田 幸夫	埼玉大学	理工学研究科 特任准教授	
委員	野澤 伸一郎	東日本旅客鉄道(株)	執行役員 構造技術センター 所長	シンポジウム実行委員
委員	服部 修一	鉄道運輸機構		
委員	服部 卓也	国土交通省(千葉市)	千葉市都市局長	
委員	馬場 康之	京都大学	防災研究所白浜海象観測所 准教授	防災小委員会委員長
委員	松井 直人	三菱地所(株)	顧問	
委員	松永 浩	東京電力ホールディングス(株)	福島本部 除染推進室(浜通南地域担当)いわき拠点長	
委員	三浦 良平	国土交通省	総合政策局交通計画課交通計画課地域振興室長	
委員	三田 武	(株)日建設計シビル	都市基盤・エンジニアリング部門 技師長	心理小委員会副委員長
委員	望月 明彦	東京地下鉄(株)	常務取締役	
委員	森山 守	中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)	金沢支店 技術管理部	維持管理小委員会副委員長
委員	吉田 信博	国土交通省(宇都宮市)	副市長	
委員	渡邊 明之	東日本旅客鉄道(株)	構造技術センター 次長	
統括幹事	安藤 慎一郎	(株)竹中土木	東京本店 技術・設計部 技術部長	
統括幹事	斎藤 優貴	パシフィックコンサルタンツ(株)	交通技術本部 トンネル部 都市トンネル室	
統括幹事	清木 隆文	宇都宮大学	大学院工学研究科 地球環境デザイン学専攻 社会基盤デザイン学コース 准教授	
幹事	池尻 健	(株)セントラル技研	地盤技術部 部長	維持管理小委員会幹事
幹事	岡本 慎一	鉄建建設(株)	東京支店土木営業部長	シンポジウム実行委員会幹事
幹事	小貫 勝彦	東京電力ホールディングス(株)	業務統括室設備渉外・調整グループ マネージャー	防災小委員会幹事
幹事	小野 栄子	株式会社日建設計シビル	エンジニアリング部門 CM・防災部	シンポジウム実行委員会幹事
幹事	加藤 完治	株式会社GK設計	取締役	心理小委員会幹事
幹事	重田 佳幸	パシフィックコンサルタンツ(株)	インフラマネジメント部 トンネル・地下構造担当 技術部長	維持管理小委員会幹事
幹事	関 蘭果	(株)竹中土木	技術生産本部技術開発部	計画小委員会幹事、シンポジウム実行委員会幹事
幹事	大門 創	福山市立大学	都市経営学部 都市経営学科 准教授	計画小委員会幹事
幹事	山口 晋	日本大学	大学院 生産工学研究科 土木工学科 専任講師	シンポジウム表彰委員会幹事
委員長	石垣 泰輔	関西大学	環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
委員会顧問	石田 敏郎	早稲田大学	人間科学研究科 石田研究室 教授	
委員会顧問	大西 有三	京都大学	名誉教授	
委員会顧問	岸井 隆幸	(公財)都市づくりパブリックデザインセンター(日本大学)	理事長(理工学部特任教授)	
委員会顧問	工藤 康博			
委員会顧問	戸田 圭一	京都大学	大学院 経営管理研究部 教授	
委員会顧問	西 淳二	NPOジオテクチャーフォーラム	理事	
委員会顧問	野焼 計史	東京地下鉄(株)	常務取締役鉄道本部長	
委員会顧問	中山 学	神戸学院大学	現代社会学部 社会防災学科	
委員会顧問	石田 敏郎	早稲田大学	人間科学研究科 石田研究室 教授	